



第63号 (タブロイド版)

令和3年3月発行

大野北地区社会福祉協議会

〒252-0233 相模原市中央区鹿沼台1-10-20  
(大野北まちづくりセンター内)

電話：042-861-4512

## コロナの一年から次へ

今年度は昨年度より、さらなる取り組みを目指していた大野北地区社会福祉協議会の活動は、この新型コロナウイルス感染症の広がりを受けて、活動の大幅な縮小を余儀なくされ、人の集まるイベントやお話をする場も、時期を遅らせれば可能かもしれないということ、延期や繰り延べを繰り返して、活動の機会をうかがってきましたが、しかし感染の勢いは増減を繰り返すも自由な活動が行えるまでには至らず、年度末を迎える時期になってしまいました。

活動の一環であるはやぶさカフェや、ふれあいフェスタといったつなぐ・ふれあう活動が中止に、同様にボランティア

講座や中学生ボランティアスクールなどのまなぶ活動も中止となりました。また銀河まつりや公民館まつりの中止を受けて、これらへの参加もできませんでした。

その結果全体が行うような活動は残念ながらすべて中止になりましたが、しかし個人や小さなグループでのマスクづくり、思い愛ネットワークの個別活動、あるいは「あつまれおやこオンライン版」「お出かけ・宅配便利マップづくり」などの活動は行われました。

来年度は感染が弱まり新たなポストコロナ時代が来ることを期待し、大野北地区社協ならではの「支えあい」と「つながり」を深めた活動を行っていきたいと思っています。



## ～思い愛ネットワーク活動、今できることを～

4・6・7・8班の活動から



### 4班

私たちの担当エリアは淵野辺駅周辺で商店街が近くにあるため、日頃は家の外観を確認したり、お買い物中にお見かけた場合は「お元気そうですね」とお声がけすることで、見守り活動をしています。

今年は大野北地区全体での思い愛ネットワークでの茶話会行事が中止になったために、4班での個別活動として利用者の方々にクリスマスプレゼントのお菓子を差し上げながらみなさんのご様子を伺うことにしました。皆さんはとても喜んでくれました。

また、ネットワーク員同士もプレゼントの内容を相談する会合で久々に顔を合わせることができ、日頃の話題に花が咲きました。

利用者にとってもネットワーク員にとっても、思い愛ネットワークは楽しい交流の場になっています。



### 6班



例年、茶話会などを実施しネットワーク員と利用者が一緒になって楽しい時間を過ごしますが、今年は新型コロナウイルス感染予防のため茶話会は中止となりました。日頃の見守りにプラスして何かできることはないだろうかと考えた結果、今年はクリスマスプレゼント（靴下、エコバッグ）を渡しながら利用者宅を訪問することにしました。

ネットワーク員のFさんからプレゼントを受け取ったNさんは「とてもありがとうございます。それにつきます」と話してくれました。笑顔で訪問し、笑顔で出迎えてくれるのは双方にとって嬉しい瞬間です。

Fさんは2名の利用者を担当し、月に2回は電話をかけてお話をすることにしています。利用者の方から頼りにされていて、電話がかかってくることもあるそうです。日頃からのご近所の関わりに加え、思い愛ネットワークでの関わりもあることで、より交流が深まっています。

大野北  
思い愛  
ネットワーク

大野北地区社会福祉協議会が、阪神淡路大震災の教訓を踏まえ、平成10年10月にスタートさせ、13の班に分かれてネットワーク員が、利用登録した方を見守る活動を進めています。  
「遠くの親戚より近くの他人」の"心"を大切に、お互いが知り合い、声をかけ合い、いざという時には助け合える関係を作っていくことを目的としています。

ネット員募集しています！  
大野北地区社会福祉協議会

☎861-4512



## 地区老連の活動

### 大野北地区老人クラブ連合会

大野北地区老人クラブ連合会（以下、地区老連）主催のグランドゴルフ大会が、9月15日（火）に「淵野辺本町ふれあい広場」で開催されました。

原田地区老連会長の「高齢者の行動が制約される中、老人会が手をこまねいていて良いのだろうか」等の挨拶、市長のメッセージ紹介、ルール等の説明があり、8グループ42名が8時52分にスタートしました。

「イッター」「アッ」「うまい」等、嬉々とした声が飛び交う1時間30分の熱戦を終え、表彰式では優勝は山王長寿会の森田さん、準優勝はシルバー銀盛会の松本さんを始め14名が受賞され、ホールインワン賞は14名と多くの方にそれぞれ景品が手渡され、その活躍を皆さんで喜び称えあいました。

コロナ禍で社会全体が閉塞感におおわれる中、元気な高齢者の躍動する姿は、青空の下若々しい息吹に溢れているように感じられました。

三密を避けての活動としてグランドゴルフは、各単位老人



会でもそれぞれ工夫をしながら、継続的に実施しています。

また、中渚自治会「みたけ福寿会」では、令和2年2月以降清掃活動以外のいきいき百歳体操、ウエルネススポーツ吹矢、茶話会、お誕生会等の全ての屋内活動を休止、更に溪松園、旅行会等の移動を伴う活動も休止しています。

このままでは高齢者の運動機能障害、認知機能障害が懸念されることから、自治会の協力のもと「中渚ふれあい広場」で10月よりラジオ体操を計画し相模原市ラジオ体操事務局から長野先生・酒匂先生においでいただき、基本動作を4週にわたりご指導頂くなど、老人会会員は勿論、自治会員も含めての実施で50数人の盛況となりました。

終了後には、みたけ福寿会の取り組みとしてグランドゴルフの試行実施を始めるなど、新たな活動も模索されています。

当面は、12月中旬までの予定でしたが参加者の皆様の熱気を受け、1月以降も継続することになりました。

とに角、コロナがもたらす分断から、高齢者を守るため何ができるか、何をすべきかと考えさせられています。



## ～思い愛ネットワーク活動、今できることを～ (つづく)

### 7班



年度末も迫る1月16日、7班は長らく中断をしていたネット会議を開催しました。私たちはネットワーク員11名、利用者17名と思い愛ネットワーク全体から見ると、平均的な人員構成の班です。先に行われた思い愛ネットワーク運営委員会から、各班の取り組み状況が報告されると、少しでもできることをやろうという感じで、その後利用者の確認、今後の活動計画などを話し合いました。班長の坂口さんから公益財団法人地域医療振興協会から、ヘルスプロモーション研究センター作成の「シニアのコロナに負けない！心と体作り」のポスターの紹介があり、同協会から許可を得て各員に配布し、これを元に勉強会を行いました。その結果、その中でも特に大事な口腔ケアに着目し、本資料を利用者に配布するとともに、歯間ブラシを購入配布し、後ほど電話にてご説明する活動を1月～2月にかけて行いました。

### 8班



今年は新型コロナウイルス感染予防のため茶話会などは中止していますが、鉢植えをプレゼントする活動は2年前から継続しておこなっています。

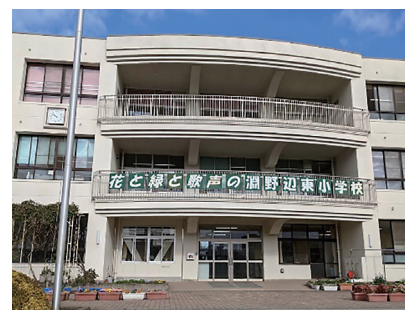
ネットワーク員の中で鉢植えを選び購入する人、それを受け取って利用者の方に渡しに行く人と役割を決めています。

ネットワーク員Sさんの訪問に、利用者のAさんは「見守りをさせていただいて嬉しいし、安心できます」と喜びの声。ネットワーク員のSさんは思い愛ネットワークでの活動を継続しておこなっており「訪問して鉢植えを渡すことで話もできます」と素敵な笑顔で話してくれました。





# 花と緑と歌声♪の 淵野辺東小学校



淵野辺東小学校では「花と緑と歌声」をスローガンに掲げて相模原市内では50番目に創設された小学校です。校章は、おおとりと太陽を表しており、世の中の人のためになる人間に成長してほしいという願いを込めたデザインになっております。

本校は「誰もが幸せになる社会を目指して」の想いを掲げ、『みんなのひと体験』というテーマで毎年4年生になると、福祉体験学習として福祉の心を育む講話や障がいのある方からの話を聞いたり、体験をすることを継続して行っております。このコロナ禍の中でも、福祉体験、校外学習は例年通りに行い、福祉への気持ちを育みながら、さらにその体験をもとに、児童たちが感じた気持ちをまとめて壁新聞にするといった取り組みも行っています。

## ～ 誘導体験 ～



目隠しをする役とガイドヘルパー役とのペアを組んで誘導体験をしました。「目隠しをして歩く、ということは、人を信頼すること、が大切になるんだね!」と、いうことを感じたようです。

## ～ ハンディキャップ体験 ～

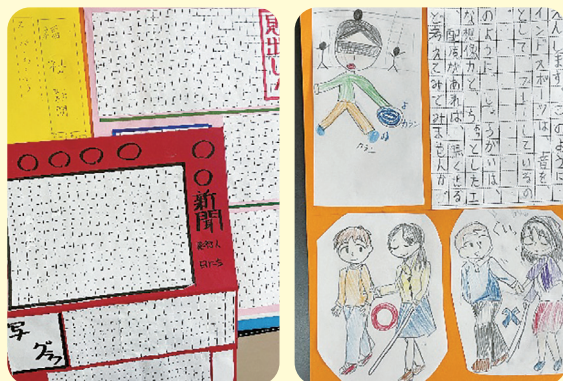


視覚に障がいのある方からの講話を聞き、たとえば食事をする時に食べ物がこの場所にあるかを説明する時には時計に例えて伝える、などと言うやり方があるということを知りました。小さな気遣いを知ることが意識を変えるきっかけになりました。

## ～ 壁新聞作り ～

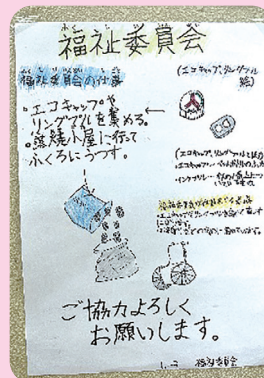
毎年4年生が福祉体験や校外活動の体験をもとにした壁新聞を作成しています。

その時に感じた気持ちや、初めて聞いたこと、目にしたことを形にして伝えようと、グループごとに話し合いイラストやグラフなど工夫をこらしまとめています。



## ～ エコキャップ、プルタブ回収の取組み ～

福祉委員の児童たちがポスターを作成しエコキャップ、プルタブの回収に力を入れています。再生プラスチックの原料として換金をして、医療支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育等に活用されています。



## 保育園紹介 Vol.2

### YMCA オベリン保育園

YMCAオベリン保育園は淵野辺駅北口から徒歩3分、桜美林大学国際寮の2階にある定員60名の保育園です。イエス・キリストの教えに基づき、神さま、保護者、保育士から「あなたは大事」と温かく受け入れられ、子どもたち一人ひとりが愛されていると実感できる保育に取り組んでいます。5歳児は年に2回富士山キャンプがあり、日常では味わえない様々な自然体験をします。また「面白そう」「やってみよう」

「こうしたらどうなる」など、子どもたちの興味や意欲を大切に、見たり、聞いたり、触ったり、匂いをかいだり、味わったりと、五感を用いて心とからだを動かし、仲間と共に育ちあい、太くて長い心の根っこが伸びていくことを願っています。

社会福祉法人 横浜YMCA福祉会  
YMCAオベリン保育園

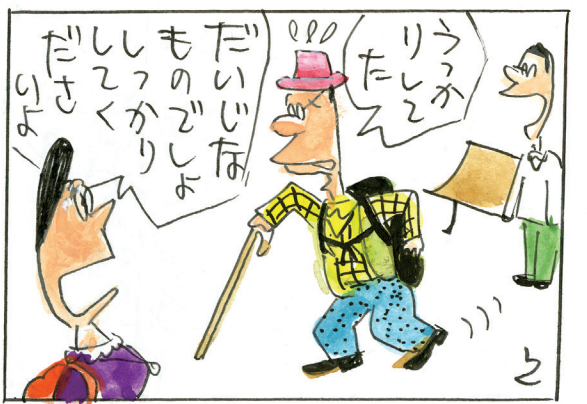
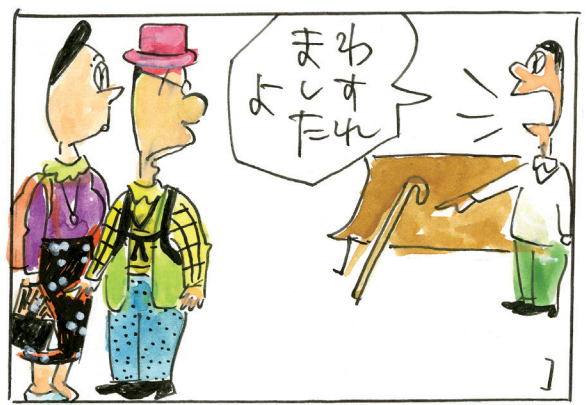
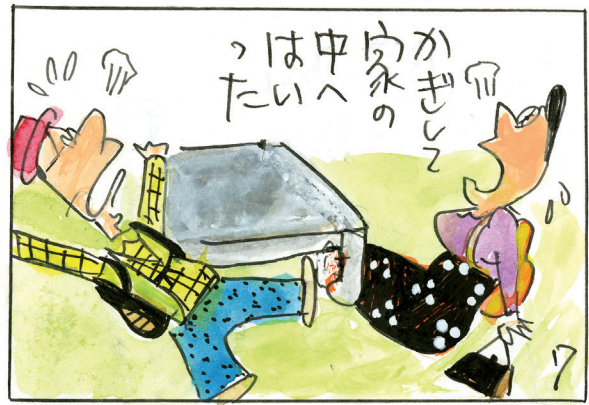




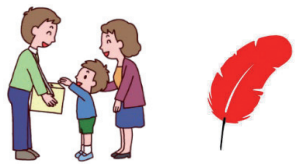


福祉マンガ **ものわすれ**

秋竜山 夫婦でピクニック



**淵野辺駅での街頭募金活動**



今年度はコロナ対策を万全に募金活動をしました。

- 10月1日(木) JR淵野辺駅南口・改札口  
民生委員・児童委員協議会延べ24名  
募金額：35,777円
  - 10月4日(日) JR淵野辺駅改札口  
ボーイスカウト相模原第8団 10数名が交代で参加  
募金額：10,183円
- みなさまのご支援ご協力ありがとうございました。

**車いすの貸出【費用は無料】**

貸出期間：約1週間  
お問い合わせ ☎042-861-4512



**図書等宅配サービス**



大野北地区にお住まいで図書館に来ることができない方に、本やCDなどをお届けするサービスを行っています。ご本人の代わりに大野北地区宅配ボランティアが、図書館の本を持ってご自宅に伺います。本は図書館の職員が選んで用意することも可能です。詳しくは、市立図書館までお問い合わせください。

※図書館ホームページでは貸出予約ランキング、また、市立図書館報「TOMTON」ではおすすめ本を掲載していますので、ご活用ください。

連絡先 市立図書館電話 042-754-3604

図書館HP <https://www.lib.sagamihara.kanagawa.jp>

/TOSHOW/html/RankKensaku.html



**令和二年度 表彰者**  
(五十音順敬称略)

◆令和二年度全国民生委員児童委員連合会表彰  
倚水 能生(東淵野辺)

◆相模原市社会福祉功労者表彰◆

- 大神田 江身子(淵野辺)
- 小林 敏子(矢部新町)
- 宮崎 忠三(淵野辺本町)

ありがとうございました

- 日赤募金・・・二、一一三、六九〇円
- 市社協賛助会費・・・一、七〇二、三〇〇円
- 共同募金
- 赤い羽根分・・・一、八九二、一六三円
- 年末助け合い分・・・九八三、一六一円
- 愛の募金箱(協力店・設置場所)
- (株)オセキ矢部店
- フルヤゴルフガーデン
- (有)中洲ゴルフクラブ
- グルメシティ淵野辺本町店
- 相模原市大野北公民館 合計・・・円

**編集後記**

コロナ禍の中、イベントが軒並み中止。紙面を飾る取材の場がとれるのかと不安のスタート。コロナとの共生を探る中、教育関係・老人会など元気な皆さんの活動をお届けできることになりました。分断をもたらすコロナに抗い、皆様との心の交流が図れたなら幸いです。

KY